

(6) 観光入込客の状況

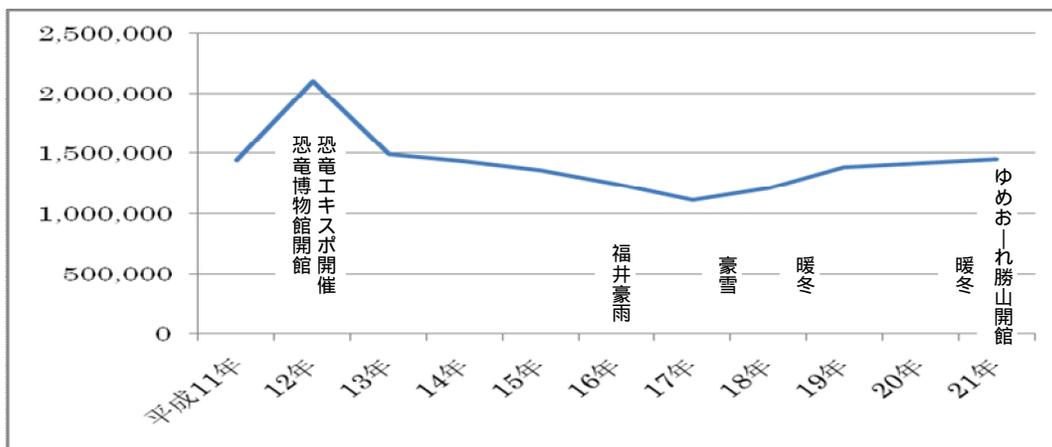
ア．観光客入込数の背景

平成11年以降の勝山市への観光入込客数は下表のとおりです。ここ4年間は、微増傾向となっています。

地域別の入込状況では、福井県立恐竜博物館がある「かつやま恐竜の森周辺」や、「平泉寺白山神社周辺」、「スキージャム勝山」、「越前大仏、勝山城博物館周辺」など、市街地周辺にある主要観光施設では合わせて年間100万人を超える入込客数を見せています。

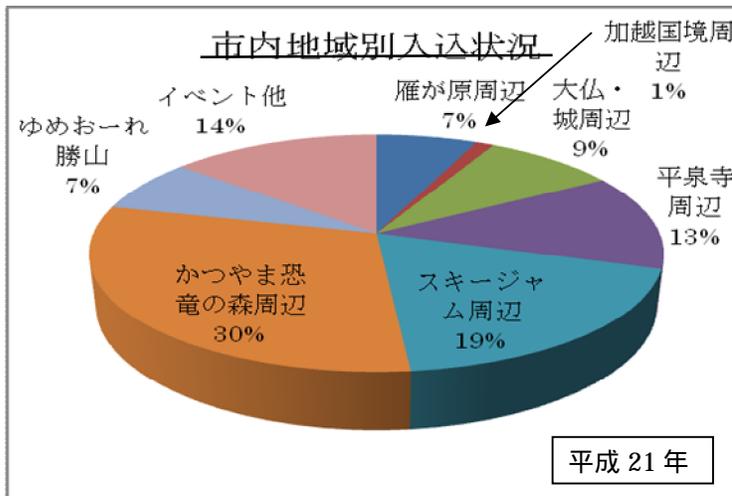
平成21年7月には、まちなか観光の拠点となる「はたや記念館 ゆめおーれ勝山」がオープンし、年間10万人を超える来館者がありました。

【観光客入込状況】



年	勝山市	福井県
平成11年	1,447,100人	9,237,000人
12年	2,105,300人(前年比 45.5%増)	9,715,000人(前年比 5.2%増)
13年	1,491,400人(前年比 29.2%減)	9,721,000人(前年比 4.6%減)
14年	1,439,500人(前年比 3.5%減)	9,382,000人(前年比 1.2%増)
15年	1,366,000人(前年比 5.1%減)	9,222,000人(前年比 1.7%減)
16年	1,245,800人(前年比 8.8%減)	8,793,000人(前年比 4.7%減)
17年	1,118,300人(前年比 10.2%減)	9,302,000人(前年比 5.8%増)
18年	1,217,600人(前年比 8.9%増)	9,851,000人(前年比 5.9%増)
19年	1,391,000人(前年比 14.2%増)	9,934,000人(前年比 0.8%増)
20年	1,424,100人(前年比 2.4%増)	10,259,000人(前年比 3.3%増)
21年	1,453,500人(前年比 2.1%増)	10,438,000人(前年比 1.7%増)

(出典：平成21年福井県観光客入込数 福井県観光営業部観光振興課)



【入込の市内地域別状況（人）】

年	雁が原 周辺	加越国 境周辺	大仏・城 周辺	平泉寺 周辺	スキ- ジャム 周辺	かつやま 恐竜の森 周辺	ゆめお- れ勝山	イベン ト他	合 計
H 1 9	112,200	20,300	158,200	197,200	271,800	388,300		244,000	1,391,000
H 2 0	149,600	16,200	148,900	192,800	323,700	407,700		185,200	1,424,100
H 2 1	97,600	17,500	127,500	190,000	270,800	442,100	105,300	202,700	1,453,500

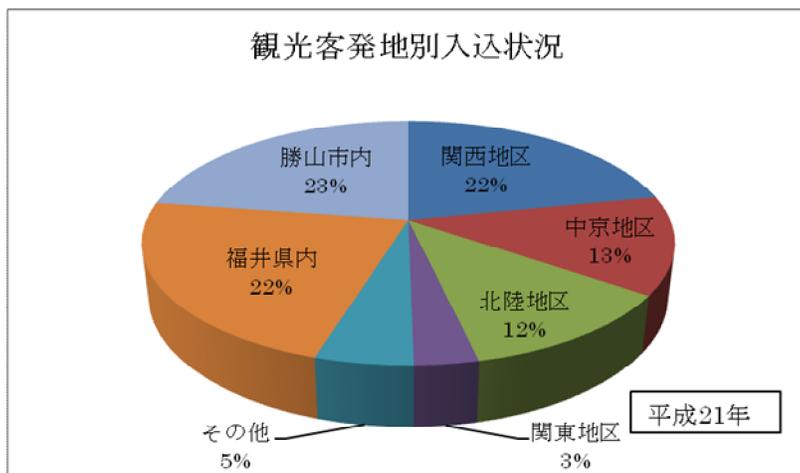
(雁が原周辺...雁が原スキー場、温泉センター水芭蕉他
 加越国境周辺...取立山、赤兎山、東山いこいの森他
 大仏・城周辺...越前大仏、勝山城博物館他
 平泉寺周辺...平泉寺白山神社他
 スキージャム周辺...スキージャム勝山他
 かつやま恐竜の森周辺...福井県立恐竜博物館、かつやま恐竜の森他
 イベント他...左義長まつり、年の市、うまいもん祭り他
 ゆめおーれ勝山は平成 2 1 年 7 月 1 8 日オープン時からの数値)

イ. 地域別、日程別状況

地域別の状況

勝山市への観光入込客数の約55%は関西、中京地区を中心とする県外客が占めています。平成17年から21年までの5年間で年間約27万人、率にして約5.3%増加しています。一方、その間の福井県内からの観光客は約2%の増加にとどまっています。

地域別の入込状況では、かつやま恐竜の森周辺の8割以上、スキージャム勝山の約4割を県外客が占めています。

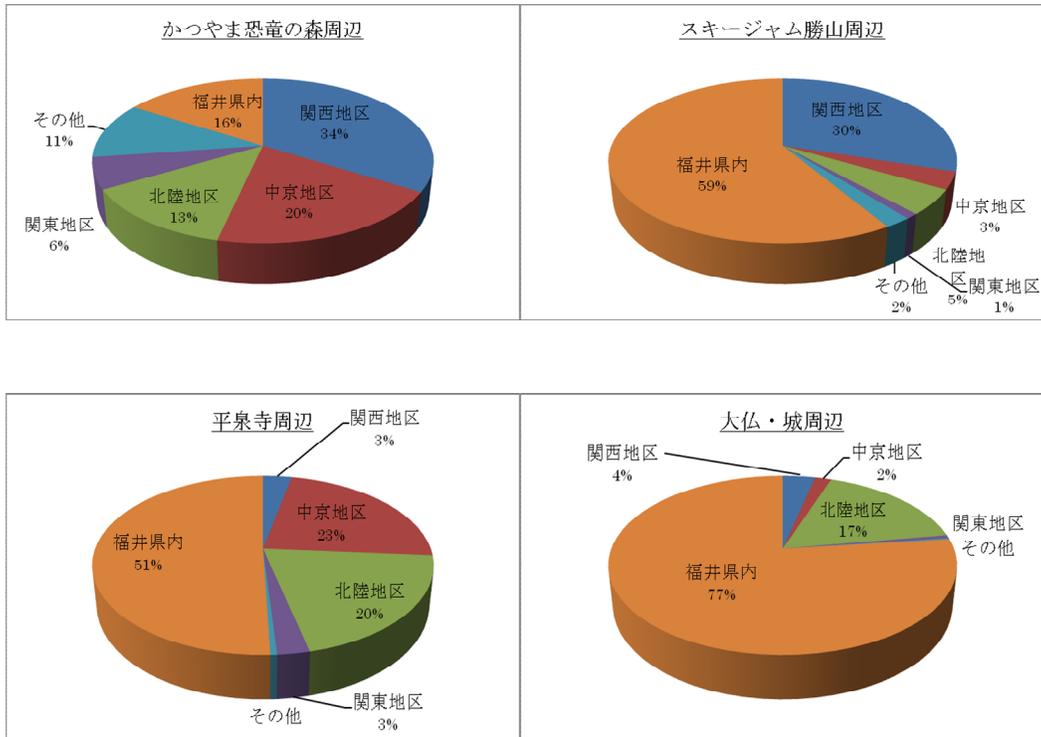


【発地別入込状況】

区分		平成21年観光客数(人)					
		勝山市			福井県		
		人数	構成比 (%)	前年比 (%)	人数	構成比 (%)	前年比 (%)
福井県外	関西地区	316,600	21.8	105.3	2,124,000	20.4	102.9
	中京地区	188,100	12.9	148.5	1,330,000	12.7	99.9
	関東地区	47,600	3.3	323.8	300,000	2.9	111.9
	北陸地区	170,500	11.7	78.5	806,000	7.7	106.6
	その他	72,800	5.0	86.5	336,000	3.2	110.9
福井県内		657,900	45.3	96.7	5,542,000	53.1	100.1
計		1,453,500	100.0	102.1	10,438,000	100.0	101.7

(出典：平成21年福井県観光客入込数 福井県観光営業部観光振興課)

市内主要観光地への発地別入込状況（平成21年）



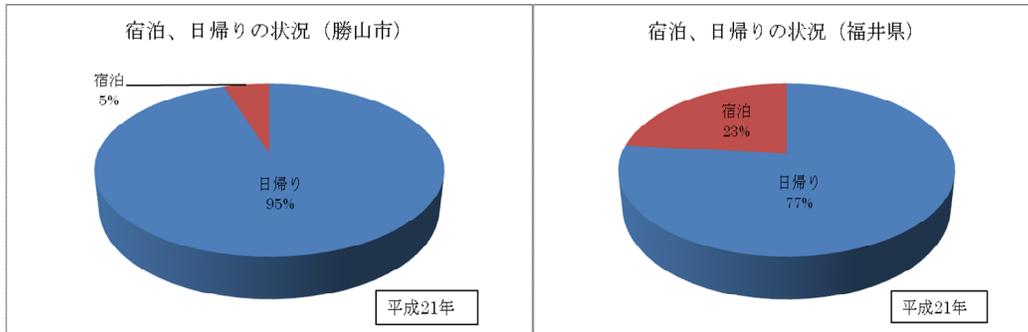
【平成21年発地別入込の市内地域別状況（人）】

区分	雁が原 周辺	加越国 境周辺	大仏・城 周辺	平泉寺 周辺	スキー ジャム 周辺	かつやま 恐竜の森 周辺	ゆめおー れ勝山	イベン ト他	合 計
関西	21,300	3,900	4,600	6,200	81,200	149,800	5,500	44,100	316,600
中京	12,600	1,700	2,300	43,600	9,200	87,100	5,300	26,300	188,100
関東	3,200	600	700	4,900	2,700	27,100	1,800	6,600	47,600
北陸	11,400	900	21,700	38,200	13,300	57,600	3,600	23,800	170,500
その他	4,900	700	300	1,000	5,700	49,400	600	10,200	72,800
県内	44,200	9,700	97,900	96,100	158,700	71,100	88,500	91,700	657,900
計	97,600	17,500	127,500	190,000	270,800	442,100	105,300	202,700	1,453,500

（ ゆめおーれ勝山は平成21年7月18日オープン時からの数値）

宿泊、日帰りの状況

勝山市内に宿泊する観光客数は、平成17年から21年までの5年間で年間約7万人から8万人台で推移しており、観光入込客数全体の5%にとどまっています。冬期間のスキー客の入込状況の変動による影響も考えられますが、全体の観光入込客数が毎年増加していることから、観光客の「通過型傾向」が続いているものと考えられます。



【日程別入込状況】

区分	平成21年観光客数(人)					
	勝山市			福井県		
	人数	構成比 (%)	前年比 (%)	人数	構成比 (%)	前年比 (%)
日帰り	1,380,200	95.0	103.3	8,006,000	76.7	103.9
宿泊	73,300	5.0	83.4	2,432,000	23.3	95.3
計	1,453,500	100.0	102.1	10,438,000	100.0	101.7

(出典：平成21年福井県観光客入込数 福井県観光営業部観光振興課)

【平成21年日程別入込の市内地域別状況(人)】

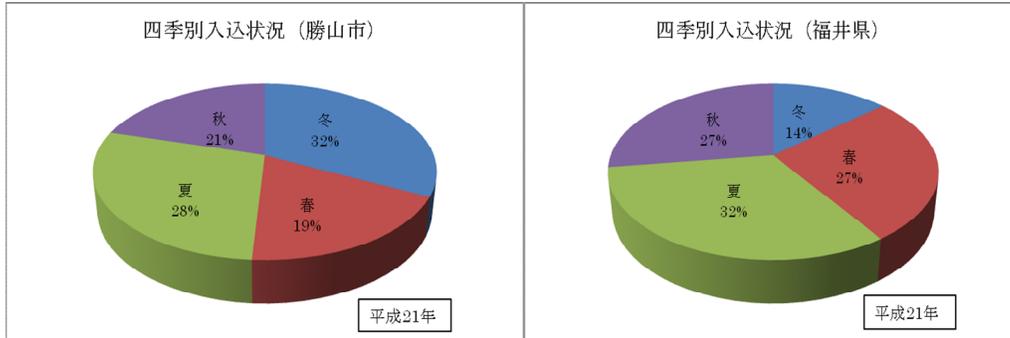
区分	雁が原 周辺	加越国 境周辺	大仏・城 周辺	平泉寺 周辺	スキー ジャム 周辺	かつやま 恐竜の森 周辺	ゆめおー れ勝山	イベン ト他	合計
日帰り	92,700	16,600	121,100	180,400	257,200	419,700	100,000	192,500	1,380,200
宿泊	4,900	900	6,400	9,600	13,600	22,400	5,300	10,200	73,300
計	97,600	17,500	127,500	190,000	270,800	442,100	105,300	202,700	1,453,500

(ゆめおーれ勝山は平成21年7月18日オープン時からの数値)

季節別入込数の状況

勝山市の観光入込客数は、冬季（1、2、12月）に最も多く（約32%）、次いで夏季（6～8月）が約29%となっています。

西日本最大級の規模を誇る「スキージャム勝山」や、ファミリー層にも人気の「雁が原スキー場」を有し、「左義長まつり」や「年の市」などの誘客力のある伝統行事が冬期間に集中していることが主な要因と考えられます。



【四季別入込状況】

区分	平成21年観光客数（人）					
	勝山市			福井県		
	人数	構成比 (%)	前年比 (%)	人数	構成比 (%)	前年比 (%)
冬(1.2.12月)	470,900	32.4	99.6	1,424,000	13.7	95.4
春(3～5月)	270,300	18.6	81.0	2,809,000	26.9	101.4
夏(6～8月)	414,100	28.5	109.7	3,373,000	32.3	100.5
秋(9～11月)	298,200	20.5	124.3	2,832,000	27.1	107.3
計	1,453,500	100.0	102.1	10,438,000	100.0	101.7

（出典：平成21年福井県観光客入込数 福井県観光営業部観光振興課）

【平成21年四季別入込の市内地域別状況（人）】

区分	雁が原 周辺	加越国 境周辺	大仏・城 周辺	平泉寺 周辺	スキ ジャム 周辺	かつやま 恐竜の森 周辺	ゆめおー れ勝山	イベン ト他	合 計
冬	52,300	200	33,800	16,500	194,400	33,900	6,400	133,400	470,900
春	17,500	6,000	29,300	52,400	36,800	110,000		18,300	270,300
夏	12,900	6,300	33,100	72,800	24,200	184,800	56,600	23,400	414,100
秋	14,900	5,000	31,300	48,300	15,400	113,400	42,300	27,600	298,200
計	97,600	17,500	127,500	190,000	270,800	442,100	105,300	202,700	1,453,500

（ ゆめおーれ勝山は平成21年7月18日オープン時からの数値）

1 - 5 . 観光振興への課題

観光を取り巻く背景や勝山市の観光資源や観光客の現状、市民の観光振興への思いなどから、勝山市の観光振興への課題を整理します。

(課題1) 素材の魅力を高めて、さらに活かしていく

- 福井県立恐竜博物館の盛況を市内の観光振興と一体化する
- 福井県立恐竜博物館来場者の車対策を図る
- 恐竜化石発掘地を訪れることができる場所として整備する
- 清大寺越前大仏への来場を促進し、門前町を活性化する
- 勝山城博物館の歴史博物館としての情報発信を進める
- 国史跡白山平泉寺旧境内を質が高い歴史資源として活用、禅定道を整備する
- 電車利用客の足の確保を図る
- 法恩寺山有料道路の利用料金を安くして、スキージャム勝山のグリーンシーズン利用度を向上する
- 外国人観光客への対応の向上を図る

(課題2) エコミュージアムによる地域の魅力を観光振興に繋げる

- 歴史遺産、自然遺産、産業遺産などを観光資源として活用する
- 左義長など伝統文化の継承や新たな地域伝統文化に対する支援を進める
- 恐竜化石、火山地形、河岸段丘などの地質、地形遺産をジオパークとして整備する
- 美しい環境、景観を観光資源としてアピールする
- 美しい景観を維持していくため、市民力を活用する
- 様々な体験メニューを組み込んだ「ジオツーリズム」など各種の体験ツアーを構築する

(課題3) まちなか誘客の仕組みをつくる

- ゆめおーれ勝山の体験メニューや動態展示等の充実・テーマ展等の開催により魅力を向上する
- 勝山駅、駅前広場をまちなか誘客の起点として活用する
- 歴史的街並み、大清水公園、石畳道などの魅力を活かす
- まちなかの商店街の機能を向上する
- まちなかでの事業継続及び新たな出店を創出する
- まちなかの歴史的景観や風情を活かした休憩・飲食施設を誘致、創出する
- まちの駅の機能向上を図る
- まちなかの駐車場対策を進める

(課題4) 勝山市全体を捉えた観光戦略をつくる

関係機関の役割を明確化する

連携強化による広域観光を推進する

左義長など誘客力のあるイベントによる通年誘客と滞在型観光の展開を図る

勝山市独自の土産物を開発する

蕎麦のブランド化と新たな地場産食材を使ったメニューを開発する

道の駅を整備する

笑顔でのもてなしの心を醸成する

第2章 観光振興に向けた戦略と施策

2-1. 勝山市の観光振興戦略

(1) 恵まれた観光資源と施設の魅力をさらに高めて、連携する仕組みをつくり、相乗効果を発揮する

勝山市の観光振興の最大の魅力「恐竜、恐竜化石」の中核施設である福井県立恐竜博物館およびかつやま恐竜の森を起点とした各観光施設への誘客を図ります。

また、各観光施設のテーマである「自然体験」、「イベント」、「遊び」、「歴史探訪」などの魅力を高めることで、多様なテーマでつながる市内観光周遊の仕組みをつくりまします。

国史跡白山平泉寺旧境内については、世界遺産登録を視野に入れ、歴史的価値およびその魅力を全国に発信し、ガイドンス施設を中核にすえた誘客を促進します。

勝山城博物館については、貴重な歴史資料を収蔵する博物館施設としての魅力を財団法人と連携してPRしていきます。

スキージャム勝山については、通年型リゾートに向けた整備、アクセスの向上などによる誘客を促進します。特に法恩寺山有料道路の利用料金を安くし、グリーンシーズンの利用向上を図ります。

清大寺越前大仏については、門前町を会場に、越前大仏や周辺施設とタイアップした通年型イベントを実施することにより、にぎわいの創出と観光施設としての越前大仏のイメージアップを図ります。

また、えちぜん鉄道利用客の市内回遊の利便性を高め、誘客を図ります。

さらに、東アジアを中心とした外国人観光客の嗜好や観光ニーズを捉えた誘客促進のための仕掛けづくりを進めます。(スキージャム勝山、清大寺越前大仏などの魅力発信)

(2) 勝山市独自のエコミュージアム、ジオパークを組み入れた着地型観光(注6)の展開を図る

エコミュージアムにより再発見された勝山市の魅力を観光振興に活かしていきます。

そのため、左義長など伝統文化の継承や新たな地域伝統文化に対する支援、遺産のデータベース化および情報発信、平泉寺、小笠原、蓮如などの歴史遺産のストーリー化など、地域資源を通年型の観光振興に活用するための整備、情報発信を進めていきます。

また、恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークを全国展開することにより、子どもから大人

(注6)着地型観光

地域の人々が、地域資源を活かした体験・交流・学習型プログラムを販売、運営することで、地域の文化を広く発信し、自らの生活の質を高める新しい観光の形態

まで親しみやすい「恐竜」を導入口とした誘客の仕掛けづくりを進め、恵まれた自然環境や景観を活かした自然観察会や農業体験などさまざまな体験メニューを組み込んだジオツーリズムを確立していきます。

(3) まちなかの魅力を向上して、中心市街地への誘客を図るために、ゆめおーれ勝山と、えちぜん鉄道勝山駅を起点とし、まちなかの駅等を組み込んだ中心市街地の回遊ルートを構築する

ゆめおーれ勝山～まちなか～えちぜん鉄道勝山駅の双方向の回遊性を高めるための仕掛けづくりを進めます。

そのため、ゆめおーれ勝山、えちぜん鉄道勝山駅それぞれの、まちなか誘客への役割を明確にした整備を進めるとともに、まちなかに駐車場を整備し、核となる施設や食事場所を創設することにより、観光客のまちなかでの滞在時間を増やしていきます。

また、ゆめおーれ勝山の体験メニューや動態展示等の充実を図るとともに、観光スポットとともにまちなかの駅や食事処など観光客のニーズに合った地点を組み込んだ回遊ルート作りに取り組みます。

さらに、本町通り、元禄線へヤル気のある商業者を集約するための支援を強化し、にぎわいのある商店街の復活を目指します。

(4) 勝山市の観光戦略を担う人材（観光プロデューサー（注7））を登用し、人材育成を図るとともに組織機構を確立する

勝山市の魅力ある観光素材を観光振興に活かすための長期的観光戦略の確立および観光戦略を一元的に担う組織を確立し、時代の流れに則した広報戦略によって、着地型観光に向けた情報発信を進めます。

観光素材のコーディネート機能の確立、行政内部における観光戦略を統括する観光プロデューサーの確保、民間資本、民間活力を活かした観光推進組織の確立を図ります。

そして、これらの民間資本、民間活力を活かした取り組みにより、地域経済の活性化につなげていきます。

また、勝山ならではの商品や食事メニューの開発に向けた支援を進めるとともに、市内の食事場所を観光客に周知する仕組みを作ります。

道の駅の整備に向けた研究を進め、観光を担う人材の育成を図り、市民の笑顔でのおもてなしの心の醸成を目指します。

さらに、新たな観光ルートの流れを的確に捉え、より効果的な広域観光の連携を進めます。

(注7)観光プロデューサー

魅力ある観光地づくりのために、地域の中に入り、地域の魅力を最大限に活かした企画・演出を行うとともに、関係者間の調整を行って合意形成を図り、具体的な誘客促進事業等を実施し、その効果を地域全体に還元させるといった事業の牽引役となる者

2 - 2 . 勝山市の観光振興施策

第5次勝山市総合計画における重点項目を念頭に置いて、以下の施策を推進していきます。

	施 策	戦 略			
		（1）恵まれた観光資源と施設の魅力をさらに高めて、連携する仕組みをつくり、相乗効果を発揮する	（2）勝山市独自のエコミュージアム、ジオパークを組み入れた着地型観光の展開を図る	市街地の回遊ルートを構築する	（3）まちなかの魅力を向上して中心市街地への誘客を図るために、ゆめおーれ勝山とえちぜん鉄道勝山駅を起点とし、まちの駅等を組み込んだ中心市街地の回遊ルートを構築する
	（市民、交流活動分野関連）				
1	・エコミュージアム「市民学芸員」の制度化による人材の活用				
2	・エコミュージアム文化財、エコミュージアム達人の活用				
3	・「まちなかミニ博物館」の活用				
4	・「かつやまふるさと検定」による人材の活用				
5	・広報紙、お知らせ版、公式ホームページによる正確、迅速な観光情報の提供				
6	・ジオサイト等の遺産を活用した誘客				
7	・ジオサイト等の地域の遺産を活かした教育普及、ジオツーリズム活動				
8	・恐竜渓谷ルートの活用				
9	・国内外の他の地域のジオパークとの連携				
10	・国内のジオパークを有する自治体との交流推進				
11	・東京勝山会、関西勝山会等との連携				
12	・学生合宿の誘致促進				

	施 策	戦 略			
		（１）恵まれた観光資源と施設の魅力をさらに高めて、連携する仕組みをつくり、相乗効果を発揮する	光の展開を図る	（２）勝山市独自のエコミュージアム、ジオパークを組み入れた着地型観光の展開を図る	（３）まちなかの魅力を向上して中心市街地への誘客を図るために、ゆめおーれ勝山とえちぜん鉄道勝山駅を起点とし、まちの駅等を組み込んだ中心市街地の回遊ルートを構築する
	（農商工分野関連）				
13	・農商工との連携				
14	・田舎暮らし体験による交流型農業の推進				
15	・地域特産品開発など食文化を活かした誘客				
16	・新たな農産物直売所、加工所導入への取組				
17	・食事処や土産品・特産品を扱う店舗等の設置				
18	・東山いこいの森および勝山森林公園の利用促進				
19	・遊歩道の利活用				
20	・観光協会・商工会議所や観光施設・関係機関との定時・継続的な情報交換と連携の強化				
	（観光分野関連）				
21	・まちなかの魅力と賑わいの創出				
22	・まちの駅の充実とネットワーク強化				
23	・ゆめおーれ勝山の年間入場者数10万人の維持				
24	・はたや記念館ゆめおーれ勝山の利用促進と活用				
25	・はたや記念館ゆめおーれ勝山およびえちぜん鉄道勝山駅を起点にしたまちなか回遊ルートの確立				

	施 策	戦 略			
		（１）恵まれた観光資源と施設の魅力をさらに高めて、連携する仕組みをつくり、相乗効果を発揮する	観光の展開を図る	（２）勝山市独自のエコミュージアム、ジオパークを組み入れた着地型	（３）まちなかの魅力を向上して中心市街地への誘客を図るために、ゆめおれ勝山とえちぜん鉄道勝山駅を起点とし、まちの駅等を組み込んだ中心市街地の回遊ルートを構築す
26	・観光ガイドボランティアの育成				
27	・勝山左義長まつりの振興と保存、継承への支援				
28	・四季折々の自然を利用した体験型宿泊旅行の企画と誘致				
29	・福井県立恐竜博物館等との連携による恐竜を活かした観光誘客の推進				
30	・スキージャム勝山等リゾート産業との連携				
31	・国史跡白山平泉寺旧境内をはじめとする歴史遺産、自然遺産、産業遺産を活かした誘客の促進				
32	・観光プロデューサーおよびアドバイザーの設置				
33	・ワンストップ観光サービス機能の整備、充実				
34	・自立した「まちづくり会社」の設立				
35	・ジオツーリズムを行うための地域の異業種連携による組織の構築				
36	・ジオパークインフォメーションセンターの設置				
37	・恐竜やジオパークに関連する商品（土産等）の開発支援				
38	・ジオツーリズムでの地産地消の取組み				
39	・「道の駅」の設置検討				

	施 策	戦 略			
		(1) 恵まれた観光資源と施設の魅力をさらに高めて、連携する仕組みをつくり、相乗効果を発揮する	観光の展開を図る	(2) 勝山市独自のエコミュージアム、ジオパークを組み入れた着地型	(3) まちなかの魅力を向上して中心市街地への誘客を図るために、ゆめおーれ勝山とえちぜん鉄道勝山駅を起点とし、まちの駅等を組み込んだ中心市街地の回遊ルートを構築す
40	・まちなかエコサイクリングによる誘客の推進				
41	・勝山夏祭りの充実				
42	・弁天桜並木の持続性の確保と賑わいの創出				
43	・温泉センター水芭蕉の施設整備と維持管理				
44	・清大寺越前大仏、勝山城博物館との連携による誘客促進				
45	・越前大仏門前町におけるイベントの充実				
46	・景観を活かした登山や散策メニューの企画、スポーツイベントとの連携				
47	・ふくい南青山291での「かつやまフェア」開催結果を踏まえた首都圏での「まちはまるごと博物館かつやまフェア」の開催検討				
48	・市内案内看板等の効果的な設置および英語、中国語表記の拡充				
49	・わかりやすい案内看板の整備やまちなかでの駐車場の確保				
50	・学生合宿補助制度の充実				
51	・教育旅行の誘致推進				
52	・観光商談会等への積極的な参加				
53	・アジアを中心とした海外からの誘客推進				
54	・フィルムコミッションの設立				

	施 策	戦 略			
		（１）恵まれた観光資源と施設の魅力をさらに高めて、連携する仕組みをつくり、相乗効果を発揮する	観光の展開を図る	（２）勝山市独自のエコミュージアム、ジオパークを組み入れた着地型	（３）まちなかの魅力を向上して中心市街地への誘客を図るために、ゆめおーれ勝山とえちぜん鉄道勝山駅を起点とし、まちの駅等を組み込んだ中心市街地の回遊ルートを構築す
55	・福井坂井奥越広域観光の推進				
56	・越前加賀広域観光事業の推進				
57	・環白山広域観光の推進				
58	・奥越前広域観光の推進				
59	・歴史をテーマにした広域観光の推進				
60	・広域観光推進による市内での宿泊者増加				
（都市整備、交通、環境、景観分野関連）					
61	・かつやま恐竜の森（長尾山総合公園）の里山を活かした自然公園としての活用				
62	・九頭竜川水系を活かした緑地整備（弁天緑地、小舟渡周辺）の活用				
63	・中央公園の整備によるまちなか誘客のための緑のネットワークの構築				
64	・えちぜん鉄道勝山駅舎および周辺整備を活かした誘客				
65	・観光客が利用しやすいバス路線の見直し、効率化				
66	・観光地周遊バス（恐竜バス）の効率的な活用				
67	・かつやまをきれいにする運動の推進				
68	・市内全域を四季折々の花で埋める				

	施 策	戦 略			
		（１）恵まれた観光資源と施設の魅力をさらに高めて、連携する仕組みをつくり、相乗効果を発揮する	観光の展開を図る	（２）勝山市独自のエコミュージアム、ジオパークを組み入れた着地型	（３）まちなかの魅力を向上して中心市街地への誘客を図るために、ゆめおーれ勝山とえちぜん鉄道勝山駅を起点とし、まちの駅等を組み込んだ中心市街地の回遊ルートを構築す
69	・本町通りを中心とした歴史的まちなみ景観創出事業を活用した誘客				
	（教育分野関連）				
70	・白山禅定道の整備を活かした誘客				
71	・勝山の歴史人物の紹介				
72	・国重要文化財旧木下家住宅の活用				
73	・県指定文化財三室遺跡の保存、活用の推進				
74	・自然観察会の充実				
75	・九頭竜川で川下り等の充実				
76	・ジオパークを担う人材育成、ジオパークガイド等の育成				
77	・地域に残る伝統文化の保存、継承への支援と活用				
78	・サイクルフェスタの充実				

2 - 3 . 数値目標

今後5年間に本ビジョンが目指す、数値目標を以下のとおりとします。

(1) 観光客数

平成27年に160万人(平成21年145.4万人)

(2) 観光消費額

平成27年に23.6億円(平成21年21.51億円)

(3) アンケートによる観光客および市民の満足度75%以上

(4) 市内宿泊者数

平成27年に年間8万人以上(平成21年実績73,300人)

第3章 進行管理

勝山市では、観光振興施策を含むすべての市の政策目標について、計画・実行したことを評価し、改善策を次の計画に活かす継続した進行管理を、毎年4月と10月の市長による政策ヒアリングとして実施しています。

よって、観光振興ビジョンもその中で進行管理を行っていくこととなります。その他、独自進行管理策として、より正確な現状把握に努めるため、勝山商工会議所や勝山観光協会等との情報交換や方策等の検討を行う会議を定期的を開催していきます。

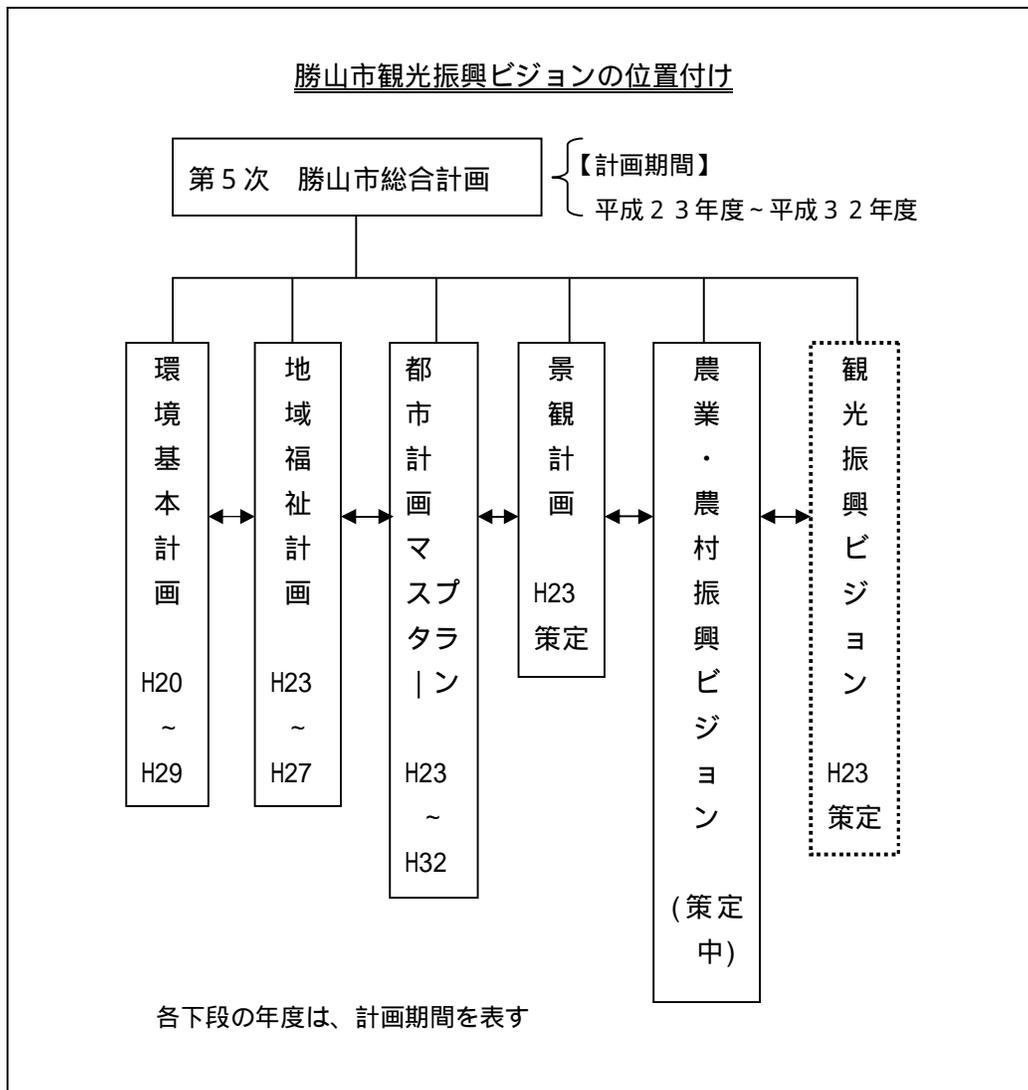
また、旅行者満足度アンケートの実施や観光関連施設における売上状況等を調査し、経済波及効果の検証にも努めます。

資料編

資料1 勝山市観光振興ビジョンの位置付け

本ビジョンは、第5次勝山市総合計画および各種計画との連携により策定されるものです。

【図2】



資料2 第5次勝山市総合計画の目指す将来像

平成23年度から10年後の平成32年度を目途に定められる、「第5次勝山市総合計画」は、勝山市が将来目指すまちづくりの指針となるべき最上位の計画です。本ビジョンは、そこに定められている、まち及びまちづくりの将来像に沿い、その政策体系の一翼を担うものとして、策定されます。

総合計画基本構想では、まちの将来像としての基本理念などが次のとおり掲げられています。

基本理念

「エコミュージアムによる ふるさとルネッサンスの実現」

目指すべきまちの姿

「小さくてもキラリと光る 誇りと活力に満ちたふるさと勝山」

基本政策

- ・エコミュージアムの新たな展開
恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークの推進によるまちの活性化
エコ環境都市の実現
- ・勝山市の基盤となっている各地区の地域力の向上
基礎的コミュニティとその集合体である地区の活性化
各地区の特色ある地域づくりの推進

まちづくりの基本的視点

- ・子育て環境モデル都市の実現、人間性豊かな教育環境の実現
- ・健康長寿のまち勝山の実現
- ・多彩な文化芸術活動の振興、スポーツの振興
- ・働く場の確保、まちづくり観光の推進
- ・循環型農業の推進、林業および内水面漁業の振興
- ・雪などの災害に強いまちづくりの推進、交通体系の整備

資料3 勝山市が策定する各種計画

本ビジョンは、総合計画以外の主要な計画とも、整合性を保ち、連携しながら実施していかなければなりません。

下記に示す各種計画の理念や方針を尊重し、本ビジョン策定の趣旨との関わりに充分配慮する必要があります。

主要な各種計画の概要

計画名	計画期間	基本理念又は目標	基本方針又は計画
(ア)勝山市環境基本計画	平成 20 年度 ～29 年度 (10 年間)	太古からの豊かな自然、美しい環境を未来に受け継ぐエコミュージアムのまち かつやま	良好な環境と共生できるまちの創造 循環型地域社会の構築 環境に携わる主体間の連携 環境をいたわる心を持った市民の育成
(イ)勝山市地域福祉計画	平成 23 年度 ～27 年度 (5 年間)	誰もが安心して暮らせる人にやさしいすこやかなまちづくり	生活課題への取り組みと福祉への理解の向上 地域における交流と支え合い 支援活動とネットワークの構築 地域福祉を支援する仕組みづくり 健康と福祉の拠点の活用
(ウ)勝山市都市計画マスタープラン	平成 23 年度 ～32 年度 (10 年間)	小さくてもキラリと光る誇りと活力に満ちたふるさと勝山の実現	エコミュージアムによる質の高いまちづくり 持続可能な都市構造の形成と活力あるまちづくり 効率的で人にやさしい都市基盤の整備による安心して暮らせるまちづくり 市民と行政が育む協働のまちづくり
(エ)勝山市景観計画	設定していない	豊かな自然、悠久の歴史と伝統文化 ふるさとの誇り、勝山の美しい原風景を未来に残そう	霊峰白山を後背に、たおやかな稜線が重なる山並みの眺望景観を守る 四季の移ろいを、見て触れ

			<p>て感じることができる自然 とともに生きる</p> <p>暮らしの中に、伝統文化が 息づく優美な集落景観を育 てる</p> <p>悠久の時の流れが、今に語 りかける歴史と伝統に学ぶ 勝山固有の風景に美しく調 和した施設景観を創造する 勝山の景観は市民の誇り、 未来へ継承する思いを共有 しよう</p>
(オ)勝山市農業・ 農村振興ビジョン	平成 23 年度 ~ 27 年度 (5 年間)	<p>テーマ(仮称) 将来へ 引き継ぐ勝山の人と自 然 持続可能な農業・農 村を目指して 勝山 としての循環型農業の 確立と推進</p>	<p>農業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落を基盤に考える地域農 業の振興 ・循環型農業を基軸とした勝 山型農業の推進 ・経営効率化に資する生産基 盤・農業用施設の適正な機 能の確保 ・鳥獣害防止対策の推進 <p>林業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的な森林管理の推進 ・多様な活動主体による森林 活用 <p>内水面漁業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産資源の保護・活用

勝山市観光振興ビジョン策定の経緯

検討経緯

日付	内容
H22. 1. 25	第1回「勝山市観光振興ビジョン」庁内策定チーム会議
H22. 3. 23	第1回「勝山市観光振興ビジョン」策定委員会
H22. 5. 25	第2回「勝山市観光振興ビジョン」庁内策定チーム会議
H22.10. 21	第3回「勝山市観光振興ビジョン」庁内策定チーム会議
H22.10. 25	第4回「勝山市観光振興ビジョン」庁内策定チーム会議
H22.11. 8	第5回「勝山市観光振興ビジョン」庁内策定チーム会議
H22.11. 22	第1回「勝山市観光振興ビジョン」ワーキンググループ会議
H22.11. 25	第2回「勝山市観光振興ビジョン」策定委員会
H22.12. 10	第6回「勝山市観光振興ビジョン」庁内策定チーム会議
H22.12. 16	第2回「勝山市観光振興ビジョン」ワーキンググループ会議
H22.12. 17	第7回「勝山市観光振興ビジョン」庁内策定チーム会議
H22.12. 22	第3回「勝山市観光振興ビジョン」策定委員会
H23. 1. 7	第8回「勝山市観光振興ビジョン」庁内策定チーム会議
H23. 1. 13	第3回「勝山市観光振興ビジョン」ワーキンググループ会議
H23. 1. 24	第4回「勝山市観光振興ビジョン」策定委員会
H23. 3. 25	第5回「勝山市観光振興ビジョン」策定委員会

勝山市観光振興ビジョン策定委員会委員

(順不同、敬称略)

氏名	所属	備考
井上 武史(委員長)	福井県立大学地域経済研究所 講師	学識経験を有する者
山北淳太郎	福井県観光連盟 観光プロデューサー	専門知識を有する者
大平重衛門	(株)東急リゾートサービス 統括総支配人	
荒井 由泰	勝山商工会議所会頭	観光関係団体の代表者
松井 拓夫	勝山観光協会会長	
玉木 達雄	元禄一番街繁栄会会長	
杉平 信夫(副委員長)	勝山市区長連合会会長	市民を代表する者
玉木 憲治	勝山市エコミュージアム協議会会長	
島田 勝身	一般市民(公募委員)	
久保 光子	一般市民(公募委員)	
小玉 理恵	一般市民(公募委員)	
前田 洋治	福井県立恐竜博物館館長	行政関係者
松村 誠一	勝山市副市長	
石倉 充男	勝山市商工観光部部長	

計14名

観光振興ビジョン策定ワーキンググループ委員

(順不同、敬称略)

氏名	所属	備考
井上 武史	福井県立大学地域経済研究所 講師	策定委員会委員長
和田さかゑ	勝山観光協会事務局	
堀明 弘	勝山商工会議所 専務理事	
新谷 輝夫	勝山観光ガイドボランティアクラブ	
玉木 達雄	元禄一番街繁栄会会長	策定委員会委員
大南 正治	勝山市エコミュージアム協議会	
上田 秋光	NPO法人恐竜のまち勝山応援隊理事長	
島田 勝身	一般市民(公募委員)	策定委員会委員
久保 光子	一般市民(公募委員)	策定委員会委員
小玉 理恵	一般市民(公募委員)	策定委員会委員
谷内 英之	勝山市役所庁内策定チーム	
今井 正敏	勝山市役所庁内策定チーム	
松村 英之	勝山市役所庁内策定チーム	
石倉 充男	勝山市商工観光部部長	策定委員会委員

計14名

観光振興ビジョン策定庁内チーム

氏 名	所 属	担当分野	備 考
谷内 英之	未来創造課	総合計画策定	企画調整・行革推進 G
山内千鶴代	未来創造課	エコミュージアム	未来政策・国際交流 G
池田 西弘	農業政策課	農業体験資源	農業振興 G
横山 正樹	林業振興課	森林資源	森林整備 G
川端 真治	都市政策課	まちづくり、景観、都市観光	まちづくり推進 G
木船 栄士	生涯学習・スポーツ課	自然環境資源、恐竜化石関係	自然体験・スポーツ G
松村 英之	史蹟整備課	歴史文化資源	世界遺産推進室
今井 正敏	生活環境課	交通体系関係	エコ・生活環境 G
小林 喜幸	観光政策課	全体総括	観光政策課長
谷出 雅博	観光政策課	事務局総括	観光振興 G
森石 義浩	観光政策課	事務局	はたや記念館振興 G
乾 一恵	観光政策課	事務局	観光振興 G
須見大二郎	観光政策課	事務局	観光振興 G
長谷川総貴	観光政策課	事務局	観光振興 G

G = グループ